

モリメイトの里山づくり

発行 2021 年 5 月 31 日

通算 224 号

三重県上野森林公園モリメイト

モリメイト通信

本気で遊ぼう！モリメイト

5 月 6 日(木曜日) 草刈り開始!

(モリメイトフィールド周辺と花菖蒲園)

【参加者:池本幸、池本美、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、杉、鈴木哲、鈴木明、中 12名】



雨と気温の上昇とともに草はどんどん伸び始め、今年も「草刈りの季節」到来である。

男性陣は、刈払い機でモリメイトフィールド

周辺の草刈りを行った。距離を取り、安全第一でゆっくり刈り進めていった。石や木の枝、根っこなどの障害物に気を付けながら、ただただもくもくと刈払い機の音を聞いて無心になって刈る。草刈りを楽しんでいるのだろうか、弁当の時間になっても戻ってこないモリメイト。刈払い機をおもちゃにして本気で遊ぶモリメイトである。

女性陣は、花菖蒲の成長を妨げる雑草が一面に生えていたので手鎌で刈っていった。しゃがんだままの姿勢が続くので立ち上がって腰を伸ばし、刈ったところを確かめては、みんなで雑談をしてまた草を刈る。溝に詰まった土を掘り上げたので、心地いい音を立てて水が流れ始めた。風も通り、花菖蒲がより生き生きとして見える。花の咲く6月が待ち遠しい。

ホダ木から白きくらげが！



「みてみて！菌打ちをしたシイタケのホダ木から白キクラゲが出てきた！」とモリメイトの杉さんから連絡が入る。花と見間違えるほどの純白の綺麗なきくらげにみんなびっくり！

5月13日(木曜日)「花のテラス」の花壇に花苗 「森のオリエンテーリング」のリハーサル実施

【参加者:池本幸、池本美、越智宏、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】



三重県に「コロナ蔓延防止宣言」が出ているため、今年も「森のオリエンテーリング」のイベントは中止となってしまった。しかし準備も進めてきており、

来年に向けてより良いものにするためにもリハーサルをやっておこうということになった。

12のチェックポイントでは鳥のカードを見つけ、6つの東屋ではクイズに答え、10本の木を探すなどをしながら公園内をキョロキョロ。いろいろな気づきがあり楽しむことができた。

午後からは、職員の皆さんと一緒に、「花のテラス」の花壇にマリーゴールドとサルビアの苗を植える作業を行った。シカに食べられない花となると限定されてしまうのが残念である。たくさんの方で、腐葉土などを入れてふかふかにしてあった土に苗を植え込むので作業はスムーズに進んでいった。最後に木のチップで土を覆い水をたっぷりかけて作業を終えた。



5月20日(木曜日) ササユリにつぼみが・モリメイト会議

【参加者:梶川、北、木谷、芝田香、鈴木哲、鈴木明、計6名】

小雨の中6名のモリメイトが集まった。10時からモリメイト会議を始め、様子を見ることにした。

今までの活動状況の報告と活動予定が出された後、「森のオリエンテーリング」のリハーサルをして気づいたことや改善点などについて話し合った。「競うのではなく、森を楽しむことにより重きをおいたらどうか」「エンジョイウオーキングといった名前にしては」「木の名前が分かるように木の名札を増やしては」などの意見が出た。

雨が止んだのでササユリの様子を見に行く。小さなつぼみをつけているものがたくさんあった。雨が激しくなり午後の活動は取りやめた。

モリメイトの活動が読売新聞に掲載

花壇に花を植え付ける会員（伊賀市で）

モリメイト（伊賀市）

里山の自然に恵まれた伊賀市の郊外にある県立野森林公園（下友生）で、ボランティアとして花木の手入れや、イベント開催などを担う「モリメイト」の活動が始まり、20年近い歴史がある。拠点は、公園の一角にあるハナショウブが植栽されている「モリメイトフィールド」の森づくり、シイタケ

「本気で遊ぼう」とを旨とする。鈴木哲代表69は「四季の移ろいを肌で感じながら、仲良く作業に取り組んでいる。家族連れらに自然に触れる楽しさを知ってもらいたい」と話している。

発足：2003年9月
会員：約30人。伊賀市と名張市の60歳以上が中心。
活動日：毎週木曜日午前10時～午後3時
問い合わせ：県上野森林公園（0595・22・2150）

サポート
花木の手入れ仲良く作業